

宇治市財政健全化推進プランについて

◆計画期間	平成30～33年度（4年間）
◆計画目標	1. 将来を見越した財政構造の見直し 2. 財政見直しにおける収支不足額の解消
◆方向性	選択と集中による抜本的な事務事業の見直しや、歳入確保など、財政健全化に向けた取組を実施
◆歳出の見直し	56.7 億円
1. 人件費等の削減	9.5 億円 職員定数の見直し、給与の適正化と継続的な時間外の縮減 旅費日当の見直し等
2. 歳出全般にわたっての事業見直し	36.0 億円 公用車の減車・更新の延長、市単独事業の見直し、公共事業等の延伸 公共施設等アセットマネジメントの推進等
3. 補助金の見直し	9.8 億円 公募等により申請を受け付けている補助金について、20%削減 補助金全件を対象として積算根拠、効果、課題等を再評価し、 全体の10%を目標に削減
4. イベント、啓発事業等の見直し	1.4 億円 イベント、啓発事業については、有効性などを検討し、廃止・休止・ 規模の縮小及び周年開催など、全体として半減を目標に削減
◆歳入の確保	11.9 億円
1. 使用料・手数料等の見直し	4.8 億円 公共施設の使用料をはじめ、手数料や負担金について、維持管理 コスト等を考慮し、受益と負担の公平性の観点から見直しを実施
2. 市有財産の有効活用	1.3 億円 公共施設駐車場の有料化や基金運用の効率化を実施
3. 市有地の売却	2.8 億円 未利用の市有財産の売却を実施
4. 有料広告事業の拡大等	3.0 億円 有料広告事業の拡大やふるさと納税制度の推進、クラウドファン ディングの活用などにより、歳入を確保
4年間の取組額の合計	68.6 億円

策定時点の今後4年間の取組額は、68.6億円となり、財政見直し策定時点の収支不足約85億円に対し、約16億円不足していますが、景気回復による市税の更なる好転や、行財政改革の取組をより一層進める中で、毎年度の予算編成において、本プランの取組内容を必要に応じて見直し、収支均衡に向けて調整を図ります。

持続可能な行財政運営のために 財政健全化推進プランに取り組んでいきます

【問合せ先】
宇治市政策経営部財務課
TEL 0774-20-8715
URL <http://www.city.uji.kyoto.jp>

宇治市の財政状況は？

市税収入は、近年横ばい傾向にある中、義務的経費は増加し、中でも扶助費については10年間で約1.7倍となっています。これらにより経常収支比率は98.8%（75%が妥当）となるなど財政の硬直化が進んでいます。また、今後4年間の財政見直しでは約85億円の収支不足を見込んでおり、基金繰り入れや市債発行による歳入の確保だけでは財政運営が難しい状況となっています。

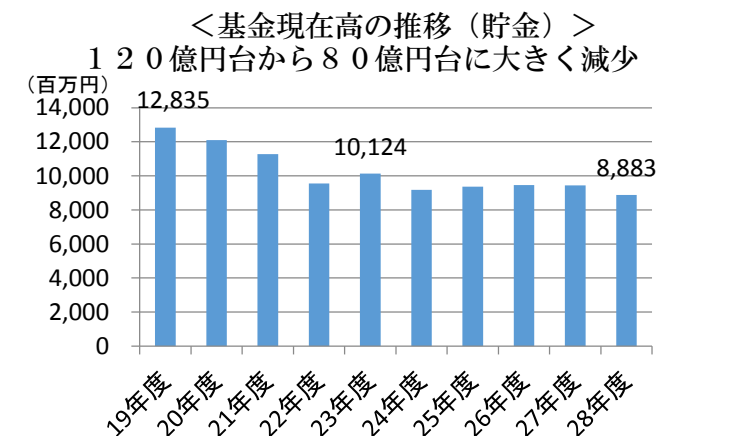
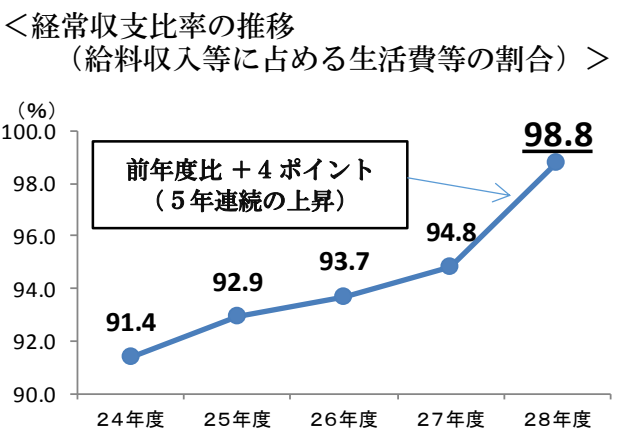
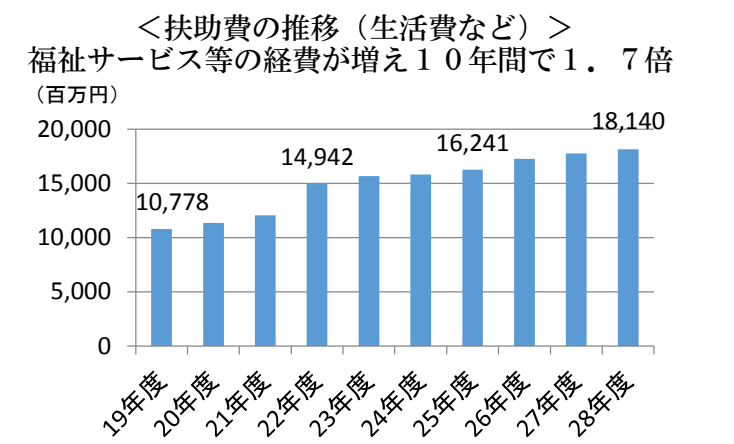
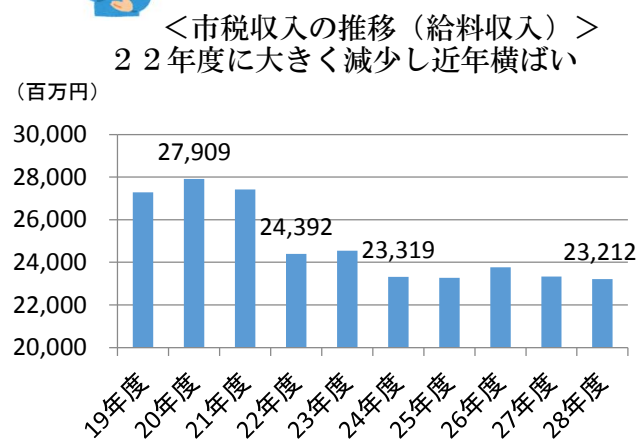
よくわからないわ



なるほど！



一般家庭に例えると、給料収入は横ばいだけど、食費などの生活費や医療費、保育所代などが増えて、旅行や家具の買替え等の自由に使えるお金が少ない状況です。今後も、出費が増える見込みで、貯金を崩したり、借金をして賄う状況で、家計的に苦しい状況となっています。



宇治市の財政は健全ではないの？

借金はあるものの、健全な財政を維持できる範囲で世代間の公平性の観点等により適正に市債を発行しており、また、財政の健全性を示す指標である実質公債費比率や将来負担比率などの健全化判断比率の各数値は健全な数値となっていることから、宇治市の財政は健全といえます。

なぜ財政健全化推進プランを推進する必要があるの？

財政は健全な状況ではありますが、日々のやりくりが厳しい状況やこのままでは将来に厳しい財政状況が予測されることから、将来を見据えて、健全な今のうちから、さらなる健全化に向けた取組が必要であると考えています。この取組にあわせて、現在の行政課題への対応や未来への投資も積極的に行うなど、持続的に発展する魅力ある宇治市の構築に向けたまちづくりをしっかりと推進する必要があると考えていますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

～平成30年度の主な取組～

◆歳出の見直し

- ・人件費等の削減
 - 職員定数の削減、全職員の昇給の抑制、退職金の見直し
 - 市長、副市長、教育長の給料減額措置の拡大（5%→7～10%）
 - 管理職員の給料減額措置の拡大（2～4%→3～5%）
- ・歳出全般に渡っての事業見直し

○廃止・休止・縮小の見直しを行った主な事業一覧

区分	内容など	担当課名
廃止	市政モニター制度	文化自治振興課
	消費者まつり	
	市民観光デイ	商工観光課
	農産物講座	農林茶業課
	生ごみ処理機等購入補助金	ごみ減量推進課
	在宅高齢者介護激励金	健康生きがい課
	高齢者あん摩等助成金	
敬老会		
休止	消費生活講座	文化自治振興課
	秋の緑化フェア	公園緑地課
縮小	民間保育所等運営補助基準の見直し	保育支援課
	道路・排水路・公園等の維持管理費の縮減（植物公園のタペストリー常緑化含む）	維持課、雨水対策課 公園緑地課

内部改革の取組や各種事業の見直しにより財源を確保！

◆歳入の確保

- ・ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングの実施
- ・使用料の見直し
 - 利用する人と利用しない人の中での公平性や、維持管理コストに対する利用者の負担割合など、受益と負担の公平性を確保する観点から、次のとおり改定します。

施設名	担当課名	原価の改定率	適用日
源氏物語ミュージアム	源氏物語ミュージアム	25%	30年7月1日
観覧料		20%	31年4月1日
目標ふれあい運動ひろば	生涯学習課	7%	30年7月1日
生涯学習センター	生涯学習課	25%	30年7月1日
幼稚園（預かり保育）	学校教育課	200円（時間）	30年4月1日
学校施設	教育総務課	25%	
自転車等駐車場	交通政策課	29.6%	全区分の平均
都市公園	公園緑地課	10%	
アール・ホール		25%	
植物公園		20%	
高場	環境企画課	20%	市内20%
男女共同参画支援センター	男女共同参画課	25%	全体25%
産業振興センター	産業推進課	25%	
観光センター	商工観光課	25%	
産業会館		25%	
コミュニケーションセンター	文化自治振興課	25%	
文化会館		10%	

宇治市の将来像

目指す都市像

「みどりゆたかな住みたい、住んで良かった都市」
まちづくりの目標
「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」



将来にわたり安全に、安心して暮らすことが出来る「ふるさと宇治」を築き、魅力あふれる活力あるまちとするためには、より一層の市民の皆さんの市政への参画・協働を進めることが重要です。「市民の力の結集で、未来に夢と希望の持てる新しい宇治づくり」に向けて、市を挙げて取り組んでいます。

将来像の実現に向けて

～8つの重点的取組と平成30年度の主な取組～

- 安全・安心なまちづくりの推進
 - ★新規 水害に強いまちを目指し、小倉町老ノ木の雨水貯留管整備に着手
 - ★新規 自治会町内会等が行う防犯カメラの設置に対して補助金を交付
 - ★新規 災害時の情報収集体制の強化に向け、ドローン導入に向けた研究を実施
- 市民参画・協働の推進
 - 継続 地域コミュニティ活性化の研究及び地域人材の育成に向けた取組を実施
- 戦略的な産業活性化の推進
 - ★新規 地域経済の活性化に向け、産業戦略を策定
 - 継続 起業による新しい事業開始を支援するため、創業支援補助金を交付
- 誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進
 - ★新規 子どもの貧困や地域福祉の担い手確保等に取り組む団体を支援
 - ★新規 府内初の常設型認知症カフェの支援、宇治久世医療介護連携センター設置、介護者支援の充実など、地域や制度で支える高齢者支援制度へ転換
- 切れ目のない総合的な子育て支援
 - ★新規 妊娠から出産・子育てまで、子育て世代の切れ目のない支援体制を構築
 - ◇拡充 保育所等の待機児童対策を実施（前年当初比：定員70名拡充）
 - ★新規 中学校給食の実施に向け、給食方式や実施手法等を検討
- 未来の宇治のまちの発展と人口減少社会を見据えた都市基盤整備
 - 継続 新田駅東側改札口の新設、六地藏駅の移転・改築に向けた取組を推進
 - ◇拡充 JR黄檗駅及び近鉄伊勢田駅のバリアフリー化を推進
- 計画的・効率的な行財政運営の確立
 - ★新規 ハザードマップや各種市政情報を掲載した総合情報誌を発行
 - 継続 公共施設等総合管理計画に基づき、アセットマネジメントを推進
- 宇治の魅力を活用したまちづくりの推進
 - 継続 （仮称）お茶と宇治のまち歴史公園の整備を推進
 - 継続 宇治川上流の景観や二子山古墳の史跡・名勝指定に向けた取組を推進